



年間授業計画

大崎 高等学校 令和8年度 (2学年用) 教科 芸術

教科：芸術

科目：書道Ⅱ

単位数：2

対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組

教科担当者：( A組：敏蔭 ) ( B組：敏蔭 ) ( C組：敏蔭 ) ( D組：敏蔭 )

使用教科書：( )

教科 芸術

の目標：

- 【知識及び技能】・書の創造的な諸活動(知識・表現・鑑賞)を通じ、日本及び中国の書道文化を深める。・漢字の書の変遷や仮名の成立等を理解し、文字と書の関係について理解を深める。
- 【思考力、判断力、表現力等】・書写能力や表現力、日本の伝統と文化についての理解を深め、現・技能)を通じて、考察する力や表現をする力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】・書の良さや奥深さを認識し、学んだ内容を積極的に活用し、豊かで充実した感性と情操を育て、自ら表現する力や表現をする力を身につける。

科目 書道Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
・書の創造的な諸活動(知識・表現・鑑賞)を通じ、日本及び中国等の書の歴史や文化と現代的な意義について理解を深める。・漢字の書の変遷や仮名の成立等を理解し、文字と書の伝統と文化について理解を深める。	・書写能力や表現力、日本の伝統文化についての理解を深めると共に、書の創造的な諸活動(知識、表現、技能)を通じて、考察する力や表現をする力を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞
			漢 仮	漢	仮	
1 学 期	・漢字五書体の特徴(復習) ・篆書の学習	・漢字五書体とその特徴(復習) ・篆書作品制作(石鼓文、甲骨文、大孟鼎)		○		○
	・篆書の学習 ・篆刻の学習	・篆書作品制作(石鼓文、甲骨文、大孟鼎) ・落款印(漢字用・仮名用)制作		○		○
	・篆刻の学習 ・隸書の学習	・落款印(漢字用・仮名用)制作 ・隸書作品制作(乙瑛碑、居延漢簡、曹全碑、石門頌)		○		○
	・草書の学習	・草書作品制作(十七帖、書譜、自叙帖、三蹟の書)		○		○

2 学 期	・仮名の学習	・仮名作品制作(高野切第一種、三色紙)				○	○	・知識 ・表現 ・学び 品、振	
	・楷書の学習 ・行書の学習	・楷書作品制作(薦季直表、爨宝子碑、始平公造像記、朝猛龍碑、孟法師碑、樂毅論) ・行書作品制作(集王聖教序、温泉銘、三稿、宋代の書)				○	○	・知識 ・表現 ・学び 品、振	
3 学 期	・楷書の学習 ・行書の学習 ・批評会	・古典を生かした表現 作品制作					○	○	・知識 ・表現 ・学び 品、振
	・漢字かな交じりの書の学習 ・批評会	・批評会				○	○	・知識 ・表現 ・学び 品、振	

# 科目 書道Ⅱ

2 単位

) ( F組：敏蔭 ) ( G組：敏蔭 )  
)

等の書の歴史や文化と現代的な意義についての理解の伝統と文化についての理解を深める。

深めると共に、書の創造的な諸活動(知識・表現)を体験する。

学習しようとする態度や、作品制作や知識の習得の過程で身につけた人間性を育む。

【学びに向かう力、人間性等】	
表現	・書の良さや奥深さを認識し、学んだ内容を積極的に活用しようとする態度や、作品制作や知識の習得の過程で得られる粘り強さを伸ばし、豊かで充実した感性と情操を持った人間性を育む。

評価規準	知	思	態	配 当 時 数
及び技能【確認テスト、作品】 力【作品、振り返りカード、批評】 に向かう力、人間性等【授業態度、作 振り返りカード、板書メモ】	○	○	○	4
及び技能【確認テスト、作品】 力【作品、振り返りカード、批評】 に向かう力、人間性等【授業態度、作 振り返りカード、板書メモ】	○	○	○	6
及び技能【確認テスト、作品】 力【作品、振り返りカード、批評】 に向かう力、人間性等【授業態度、作 振り返りカード、板書メモ】	○	○	○	8
及び技能【確認テスト、作品】 力【作品、振り返りカード、批評】 に向かう力、人間性等【授業態度、作 振り返りカード、板書メモ】	○	○	○	6

	○	○	○	○
及び技能【確認テスト、作品】 力【作品、振り返りカード、批評】 に向かう力、人間性等【授業態度、作 り振り返りカード、板書メモ】	○	○	○	10
及び技能【確認テスト、作品】 力【作品、振り返りカード、批評】 に向かう力、人間性等【授業態度、作 り振り返りカード、板書メモ】	○	○	○	10
及び技能【確認テスト、作品】 力【作品、振り返りカード、批評】 に向かう力、人間性等【授業態度、作 り振り返りカード、板書メモ】	○	○	○	8
及び技能【確認テスト、作品】 力【作品、振り返りカード、批評】 に向かう力、人間性等【授業態度、作 り振り返りカード、板書メモ】	○	○	○	2
				合計
				54

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 音楽演習 科目

教科：音楽演習 科目：芸術 単位数：2 単位 2  
 対象学年組：第3学年 A組～G組  
 教科担当者：福島 優子（ ）  
 使用教科書：（MOUSA I II（ ））

教科 音楽演習 の目標：音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を育成する

【知識及び技能】 曲想と音楽の文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性を理解し、音楽表現に必要な技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】 音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり、聴いたりできる

【学びに向かう力、人間性等】 主体的、協働的に音楽の諸活動に取り組み生涯にわたり音楽を愛好し生活を明るく豊かなものにする態度を養う

科目 音楽Ⅲ の目標：音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	書	読					
1 学期	楽しい童謡ーピアノで弾き語りをしてみよう	曲想と器楽の音色や奏法との関わり及びそのかかわりによって生み出される表現上の効果について理解している。 創意工夫を生かした器楽表現をするための体の使い方、奏法、楽典の理解など技能を身につけて演奏している				・曲想と器楽の音色や奏法とのかかわりについて理解している ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構造を知覚し、それらの動きを感じながら知覚したことと感受したところのかかわりについて考え、どのように演奏するかについて表現している	○	○	○	4
	ギターやキーボードの奏法や弾き歌い	ギターやキーボードの正しい奏法を身に付け、楽譜やコード府、TAB譜などを観ながら演奏したり、弾き歌いしたりする				【知識・技能】 曲想と器楽の音色や奏法との関わり及びそのかかわりによって生み出される表現上の効果について理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他社との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	○	○	○	8
	作曲にチャレンジ～担任ソングを作ろう	自身で作った歌詞にふさわしい節とコードをつける。ギターやキーボードの正しい奏法を身に付け、楽譜やコード府、TAB譜などを観ながら演奏したり、弾き歌いしたりする				・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組み発表することができる	○	○	○	6
2 学期	物語と音楽ーミュージカルや映画をプレゼンテーション	ミュージカルや映画の中から一つ選択し、その魅力を伝えるために物語の進行における音楽の効果や各場面における音楽の美しさと特徴についてプレゼンテーションを行い音楽作品や演奏を多角的にとらえながら鑑賞する				・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組み発表することができる	○	○	○	8
	ギターやキーボードの奏法や弾き歌い	ギターやキーボードの正しい奏法を身に付け、楽譜やコード府、TAB譜などを観ながら演奏したり、弾き歌いしたりする				【知識・技能】 曲想と器楽の音色や奏法との関わり及びそのかかわりによって生み出される表現上の効果について理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他社との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 【思考・判断・表現】 ・音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したところのかかわりについて考え、どのように打つかにして独自の表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びそのかかわりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	発表会をしよう	曲想と器楽の音色や奏法との関わり及びそのかかわりによって生み出される表現上の効果について理解している。 創意工夫を生かした器楽表現をするための体の使い方、奏法、楽典の理解など技能を身につけて演奏している				・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組み発表することができる	○	○	○	4



